

再生可能エネルギーは 化石燃料危機の中でもコスト競争力を維持

IRENA の最新の報告書によると、2021 年に導入された再生可能エネルギーの発電コストは、その 3 分の 2 近くが G20 諸国の中で最も安価な石炭火力発電コストを下回っています。

アブダビ、UAE、2022 年 7 月 13 日 — サプライチェーンの混乱やコモディティ価格の上昇の影響がプロジェクトコストにまだ完全には反映されていないこともあり、再生可能エネルギーのコストは 2021 年も引き続き低下しました。陸上風力発電は 2020 年比で 15%、洋上風力発電は 13%、そして太陽光 PV は 13%のコストダウンとなっています。

国際再生可能エネルギー機関（IRENA）が本日発表した「[Renewable Power Generation Costs in 2021（2021 年の再生可能エネルギー発電コスト）](#)」では、2021 年に導入された再生可能エネルギーのほぼ 3 分の 2 に当たる 163 ギガワット（GW）の発電コストが、G20 諸国の世界で最も安価な石炭火力発電を下回ったことが明らかにされています。IRENA は、2021 年に導入された再生可能エネルギーは、現在の化石燃料価格の高騰を考慮に入れると、2022 年の世界のエネルギー生産コストをおよそ 550 億米ドル節約できると推算しています。

また、IRENA の最新の報告書では、パリ協定における温暖化の 1.5°C 目標に沿ってエネルギー転換を加速することにより、コスト競争力のある再生エネルギーがエネルギーと気候をめぐる現在の緊急事態において重要な役割を担うことになると確認しています。太陽光および風力エネルギーは、プロジェクトのリードタイムが比較的短いため、化石燃料を速やかに削減し、最終的には段階的に廃止し、ネットゼロを追求する中で生じるマクロ経済への損害を最小限に抑えようとする各国の取り組みにおいて、重要な支柱となっています。

「再生可能エネルギーは今日、群を抜いて安価な電力形態になりました」と IRENA 事務局長フランチェスコ・ラ・カメラは語ります。「2022 年は再生可能エネルギー発電の導入がいかに経済的で実現可能なものとなったかを示すいい例となりました。現在のエネルギー危機が続いたとしても、再生可能エネルギーは化石燃料の価格や輸入量の不安定さから経済を切り離し、エネルギーコストを抑制し、市場のレジリエンスを高めます」

そして、次のように続けます。「現在の状況下では一時的な危機対応は必要ですが、中長期的に気候目標を下げるような言い訳は通用しません。今の状況は、再生可能エネルギーや省エネこそが未来であることを痛烈に思い出させてくれるものです。エジプトで行われる COP27 や UAE での COP28 の開催を前に、再生可能エネルギーは各国政府に手頃で入手し

やすいエネルギーを提供し、ネットゼロに歩調を合わせ、気候についての約束を具体的な行動に変え、地上の人々に現実的な利益をもたらします」

IRENA のコストデータで強調されているように、再生可能エネルギーへの投資は 2022 年も継続して巨大な利益を生み出しています。2021 年、OECD 非加盟国で導入された 109GW の再生可能エネルギーは、コスト面で最も安価な新規の石炭火力発電を下回っており、今後 25 年から 30 年の間に少なくとも年間 57 億米ドルのコスト削減につながると予測されます。

2021 年および 2022 年は石炭・ガス価格の高騰によって化石燃料の競争力が大幅に低下し、太陽光や風力がより一層魅力的なものとなっています。天然ガス価格が空前の急騰を見せている欧州では、ライフサイクル全体で考えると天然ガスの新規生産がますます非経済的なものとなり、座礁資産発生リスクが高まります。

欧州のこのような例を踏まえると、2022 年には既存ガスプラントの燃料コストや CO₂ コストは、2021 年に新設された太陽光 PV や陸上風力のライフタイムコストの平均 4 倍から 6 倍になるでしょう。太陽光発電および風力発電は 2022 年 1 月から 5 月までの間に、主に天然ガスが占める欧州の化石燃料輸入コストを少なくとも 500 億米ドル節約したと考えられます。

IRENA のデータによると、サプライチェーンに関わる原材料費の高騰は機器の価格やプロジェクトコストにまだすべて反映されていません。原材料費の高騰が続けば、2022 年には価格に対する圧力は一段と顕著なものとなるでしょう。しかし、化石燃料の価格上昇に比べると、コスト競争力が全体的に高まっていることから、再生可能エネルギーの価格上昇幅は小さくなる可能性があります。

[Renewable Power Generation Costs in 2021 \(2021 年の再生可能エネルギー発電コスト\)](#) を読む
[インタラクティブなインフォグラフィック](#)はこちらへ

###

国際再生可能エネルギー機関 (IRENA) について

IRENA は、持続可能なエネルギーの未来を構築しつつある国の支援を目的とした、世界的なエネルギー転換を先導する政府間組織で、国際協力の主要なプラットフォーム、研究拠点、再生可能エネルギーに関する政策、技術、リソース、資金調達に関する知識の集積所として機能しています。IRENA は現在加盟過程および加盟会員数 168 (167 ヶ国と欧州連合) とその他 16 ヶ国をかかえ、あらゆる形の再生可能エネルギーの広い受け入れと持続可能な使用を推進しており、持続可能な開発、エネルギーへのアクセス、エネルギーのセキュリティ、低炭素経済の成長と繁栄を追求しています。

Nicole Bockstaller, Communications Officer, IRENA, nbockstaller@irena.org +971 2 417 9951
www.twitter.com/irena および www.facebook.com/irena.org で IRENA をフォローしてください